

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010040

政策目標	2 めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	がん予防対策事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	がん検診受診率		#N/A	
事業目標	15%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	有 健康増進法、がん対策基本法	
住民協働	がん予防・がん検診受診等に対する生活習慣改善の取組	関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	がん検診の実施、禁煙・食生活の工夫などがん予防に係る知識の普及などによりがんによる健康障害の発生、壮年期のがん死亡を減少する。	<ul style="list-style-type: none"> 胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 がん予防等に関する知識の普及 がん検診推進事業の実施 (特定年齢の方を対象として、乳・子宮・大腸がん検診にかかる検診手帳・無料クーポン券の配布)	<ul style="list-style-type: none"> 胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 がん予防等に関する知識の普及 がん検診推進事業の実施 (特定年齢の方を対象として乳・子宮・大腸がん検診にかかる検診手帳・無料クーポン券の配布)	<ul style="list-style-type: none"> 胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 がん予防等に関する知識の普及 がん検診推進事業の実施 (特定年齢の方を対象として乳・子宮・大腸がん検診にかかる検診手帳・無料クーポン券の配布)	<ul style="list-style-type: none"> 胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 がん予防等に関する知識の普及 特定健診とがん検診同時実施 特定年齢対象者に無料クーポン券の配布 (乳・子宮・大腸がん) ・受診意向調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> 胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 がん予防等に関する知識の普及 特定健診とがん検診同時実施 特定年齢対象者に無料クーポン券の配布 (乳・子宮・大腸がん・胃・肺など) ・受診意向調査の実施	
	事業費(千円)	18,182	3,582	3,755	3,645	3,600	3,600
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	727	524	103	100		
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	4,130	690	845	845	875	875
一般財源	13,325	2,368	2,807	2,700	2,725	2,725	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,556	3,095	3,079	2,747	3,635	0
	財源内訳						
	国庫支出金	817	343	282	78	114	
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	2,924	623	815	741	745		
一般財源	8,815	2,129	1,982	1,928	2,776		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	がん検診推進事業補助金 がん検診受診者個人負担金 後期高齢者医療広域連合すこやか推進事業補助金	【評価・実績】	胃、肺、大腸、前立腺がん検診受診者数 延732名 乳、子宮がん検診受診者数 延161名 ・平均受診率 9.4% ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	胃、肺、大腸、前立腺がん検診受診者数 延730名 乳、子宮がん検診受診者数 延180名 ・平均受診率 9.1% ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	胃、肺、大腸、前立腺がん検診受診者数 延703名 乳、子宮がん検診受診者数 延141名 ・平均受診率 8.9% ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	胃、肺、大腸、前立腺がん検診受診者数 延832名 乳、子宮がん検診受診者数 延245名 ・平均受診率 9.5% ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	10%	11%	12%	13%	15%
	第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率	86%	82%	75%	101%	0%
	全体達成率	全体達成率	17%	34%	49%	69%	69%
	備考欄						

事業名	がん予防対策事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者	作成者 職氏名	保健係長	河原 真由美

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	がん検診受診率
【抱える課題やニーズは】	がんは死因の第一位を占めており、特に壮年層における健康課題、生活への影響が大きい疾患である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	がんの予防及び早期発見により健康課題の重度化、生活への影響を軽減することができる。	①	がん検診受診率
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民のがんによる健康課題と生活への影響が軽減される。	②	がん検診受診率 (前年度比)
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	各種がん検診の実施	胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺がん検診を集団及び個別検診で実施した。	
	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の実施	がん検診受診者数の増加を目指し、対象者に検診無料クーポン券と検診手帳、啓蒙普及に資するパンフレット等を送付した。	
	がんの予防、検診等に関する周知	各種保健事業や個別健康相談、保健指導時、町ホームページや広報折込等による啓蒙普及を図った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	胃・肺・大腸・乳・子宮がん検診については健康増進法で実施が義務付けられている。前立腺がん検診については罹患数の多さや進行が比較的緩徐であり治療可能性が高いことから実施している。早期発見により早期治療が可能となるよう予防対策の必要性は高い。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	目標受診率に達していないため、周知方法の工夫や受診機会の充実、啓蒙普及等の対応が必要である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	特定健診等との同実施により、住民の受診利便性向上と併せて、事業費や人員等全ての効率性を高めることができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	発症年齢等科学的に基準化された年齢により健康増進法において定められた対象者に公平に実施することができた。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
受診者数は増加しているが、受診率は横ばいである。積極的な周知や受診機会の充実・利便性向上を図るとともに、職場検診等での受診済者等、対象者数や受診状況の整理を工夫する必要がある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
検診無料券の配布や受診の必要性を訴えるパンフレット等対象者が検診受診に前向きになれるような情報提供の充実を図る。		
※展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止		